

U4 ライフル (コロラド)

ライフルの岩場は現在アメリカを代表する岩場として世界中に知られており、ここを訪れた日本人もかなりの数になると思われる。雰囲気はアメリカンフォークス同様まったくアメリカらしくない感じである。狭まった溪谷の両岸にケイブや前傾壁がずらっと並んでいる。おからの石灰岩ブームと現在のニーズにあつた前傾壁、登るだけならこれほど充実した所もあまりない。その為 90 年代前半から開拓が始まったが、爆発的にルートが開拓され、あっという間にアメリカを代表する岩場になったのである。アメリカで行われたワールドカップの前後には、フランス人など多くのトップクライマーがやって来て、幾つものすばらしい登攀がなされ、世界中にライフルの名が知れ渡った。地元クライマーとしてはカートスミス、女性ながらこの地の 5,13d を登っているボビーベンスマンなどがある。まだまだ高難度のプロジェクトなども残されており今後も楽しみな所である。

岩質
石灰岩

ルート

エリアは川を挟んで両岸に大きく分けて 17 箇所程に分かれている。その為日陰のエリアや日向のエリアなど使い分けすることも可能である。しかも 1 マイル程の中にこれらすべてのエリアが繋がっている為、簡単に移動することができる。またアプローチもまったくな準を降りてすぐに取り付くことができる。ルートは垂直から前傾壁、ケイブまでなんでも揃っている。ただし 5.11 の前半までのグレードはあまりなく、あっても上級者のアップ用なので、そのレベルの人にはお薦めできない。

グレード的には 5.11 後半から 5.12 台、5.13 台が充実している。日本に比べると若干グレードが甘く感じられるが、ヨーロッパから来ているクライマーは一応にグレードが辛いといっていた。壁全体の高さは 50メートル程あるがほとんどが 20メートル以内のルートが多い。中には 30メートルを超すラインもある。岩質は石灰岩であるが、ポケットなどはほとんど無くカチツとしたホールドやガバをくいくい引き付けて行くルートが多く持久力が必要。中にはコルネをたどるルートもある。雨が降ってもまったく問題がない。ただ、季節によって若干しみ出しがあったりとするので注意が必要。

宿泊

ライフルの街には数件ほどホテルがある。しかし街中のホテルは日本人と見るとかなりの料金を吹っかけて来る。(1泊 70 ドル、刑務所のような部屋) 高速道路沿いの道をデンバーと反対側に行ったあたりのホテルが良心的だった。(1泊 40 ドル) 何件か回って料金を確認することをお薦めする。キャンプ場は岩場の林道を 1 マイル程進んだ所にある (1スペース車込み 11 ドル シャワー無し)。シャワーはライフルの街のスーパーも前にあやし 1R、Vパークで 1人 3 ドル (ここは止めた方がよい)。6月からは街のプールが開園しているので 1人 1 ドル。コインランドリーはスーパーの隣の裏にある。

シーズン

ベストシーズンは 5 月半ばから 10 月半ば。夏がベストシーズン。1993 年に訪れた時は丁度日本のゴールデンウィークの時期だったが、岩場の上にかなりの雪が積もっていた。その為日中の日差しでとけだした雪解け水がしみ出しとなって現れ、多くのルートが登れなかった。また、この時期でも小雪が舞いダウンウエアは必需。アイスケイブと呼ばれるエリアには青氷の氷柱があった。ただ年によってかなり違って来ると思われる。今回は 1998 年 6 月に訪れたが岩場の状態はベストであった。しかし 6 月でも雪が積もった所もあった。

ショッピング

ライフルの街にはスーパーや銀行など一通りの物はそろそろ。ただし街そのものは小さな田舎町である。マウンテンショップは無く隣町のグリーンウッドスプリングスに行けば大きなマウンテンショップがある。尚グリーンウッドスプリングスの街は名前の通り温泉地で、温水プールなどもありレストの日に行くと良い。トボはグリーンウッドスプリングスの登山店で立派なものがでている。また 2 時間ほど離れたアスピンの町は、シャモニを思わせるリゾート。マウンテンショップもあり近くには花崗岩のエリアがいくつかある。

またアスペンからデンバーに抜ける山岳道路は景色が非常によくドライブに最適。

アプローチ

DENVER からI- 70号を西へ(コタ州方向)3時間から4時間ほど走るとRIKLE の街に着く。そこから街を抜け13号を北に向う。しばらく走ると13号から分かれ325号に入る。途中ダムなどを通り過ぎ10分程走ると舗装道路からダートに変わる。そうするとすぐに道沿いにエリアが現れる。ライフルの街からは30分近くかかる。入園料は4ドル必要。長期ならアニマルパス40ドルを買った方がよい。アニマルパスにも2種類あり。コロラドパスでは入れない。ライフルの街が発行するパスを買うこと。園内は頻繁にポリスが廻っていて、入園料のチェックとパーキング違反を取り締まっている。私は捕まってしまった。

93年、98年夏 内藤直也